

1. 提案の背景・目的

多文化多様性社会化が契機で、日本における留学生及び外国人労働者も含め、より一層暮らしやすいまちづくりが求められている。そこで、宇都宮に住む外国人の不安や、外国人に対する誤解を解消できる取り組みが必要だと考え、今回それらの取り組みを推進できる事業として、「**食まちフェスin宇都宮**」を提案する。今回の提案は、宇都宮で暮らす上での不安や差別を解消し外国人が輝ける場所をつくることで、全ての人にとって住みよいまちをつくることだけでなく、外国人がローカルな社会に溶け込み、さらには、宇都宮に関わる外国人も地域づくりの担い手であるという当事者意識を醸成することを目的とする。

2. にぎわいアクションとの関連

にぎわいや魅力のあるまちには、世代や国籍を問わず誰にとっても利便性が高く、主体的に活動できることが重要だと考えている。また、私たちは活動の中で外国人が生活の中でどのようなことに困っているのかなどを問うアンケート調査を実施し、彼らの生活において何が障壁となっているのかを分析して、その問題を解決するにはどのような取り組みが必要か考えた。このような私たちの活動は、宇都宮の現状や問題を認識し、宇都宮に住む全員が主役となりより良いまちを目指す活動であり、私たちがにぎわいや魅力あるまちづくりのイメージとして考えている、年齢・出身等関係なく誰もが暮らしやすく、活躍ができるまちの実現につながる。

3. 現状分析

(1)日本語を学ぶ外国人に対しての意識調査

目的：外国人の生活における**バリア・ニーズ**の把握
→提案の方向性決定

アンケート調査結果・考察

アンケート調査結果

Q.経済面で困ったことはあるか

ある:15人 ない:3人

Q.生活の中で孤独を感じることはあるか

ある:3人⇒日本人と話す機会・友達を作る場所が欲しい

Q.友達とよく行く場所はどこか

公園・喫茶店・駅前の飲食店⇒人が集まりやすく会話ができる所

Q.国籍問わず交流できる場所があったら何をしたいか

「働きたい」「遊びたい」「ゲームをしたい日本文化を共有したい」

Q.宇都宮市への愛着度

ある:3人 どちらかと言えばある:8人 どちらかと言えばない:0人 ない:7人

日本人や外国人同士での**交流に対して一定の需要はある**一方で、宇都宮で日本語を学ぶ外国人の宇都宮市への**愛着度は低い**

(2)既存の交流場所

目的：宇都宮市で行われている多文化交流の取り組みを知る

宇都宮市国際交流プラザ

- ・相談事業
- ・生活に役立つ情報提供
- ・日本語教室
- ・国際交流イベント



宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

- ・生活に役立つ情報提供
- ・国際的な課題について国籍問わず多様な人たちが意見交換する場



バンバ市民広場

- ・フェスタmy宇都宮国際交流広場

4. 事業提案

事業名：食まちフェスin宇都宮

食まちフェスin宇都宮の目的

- 外国人同士、日本人と外国人の**交流の場を創造**
- 市民の宇都宮への**愛着度向上**
- 地域づくりの**担い手精神の育成**
- 外国人に対する半継続的な**雇用創出**

食まちフェスin宇都宮実行委員会を募集

⌚ **事前準備⇒企画作成やPR活動**
構成(20名):宇都宮市職員・宇都宮市内の学生や市民

10名
外国人

日時：土日の2日間を想定、（年1回継続的に開催をする）
場所：バンバ市民広場
内容：宇都宮・栃木の食文化を楽しめる屋台の出店
日本の伝統的な遊びや現代の遊びを体験できるスペース
イートインの他に交流をメインの目的としたスペース
市民の相談を受け付けるスペース

屋台

- ・餃子やちおとめスイーツなど宇都宮・栃木グルメを想定
- ・その場で食べれる場所を用意
- ・お土産として持ち帰りもできる

遊び

- ・こまやけん玉など日本の伝統的な遊びを体験
- ・人があふれる混乱を防ぐために、1つの遊びで1回100円徴収し、最大15分間滞在できる

交流

- ・フェスと一緒に来た人ではない他の人との交流がメイン
- ・多様な国籍の人と談笑したり情報交換したりするための場

相談

- ・宇都宮市の職員が担当
- ・すぐに解決できない時は、市や民間・NPO法人等が行っているサービスを紹介する

○事業実施における役割

市民

- ・スタッフとしてフェスに参加をして準備・運営を行う
- ・客として参加をし交流を楽しむ
- ・情報発信等をSNSで行う

事業者

- ・外国人スタッフに接客等の働き方を教える
- ・外国人との交流を深める
- ・情報発信等をSNSで行う

宇都宮市

- ・フェスの告知、当日の様子をSNS等で発信
- ・イベントスタッフの募集呼びかけ⇒報酬負担
- ・実行委員としてバンバ広場の利用許可などの開催準備・運営
- ・相談コーナーで市民からの相談を受け付け

○事業実施に伴う効果

市民(客)

- ・参加者同士の交流により多文化理解が深まる
- ・宇都宮への愛着度が高まる
- ・生活に関する困りごと解消

市民(スタッフ)

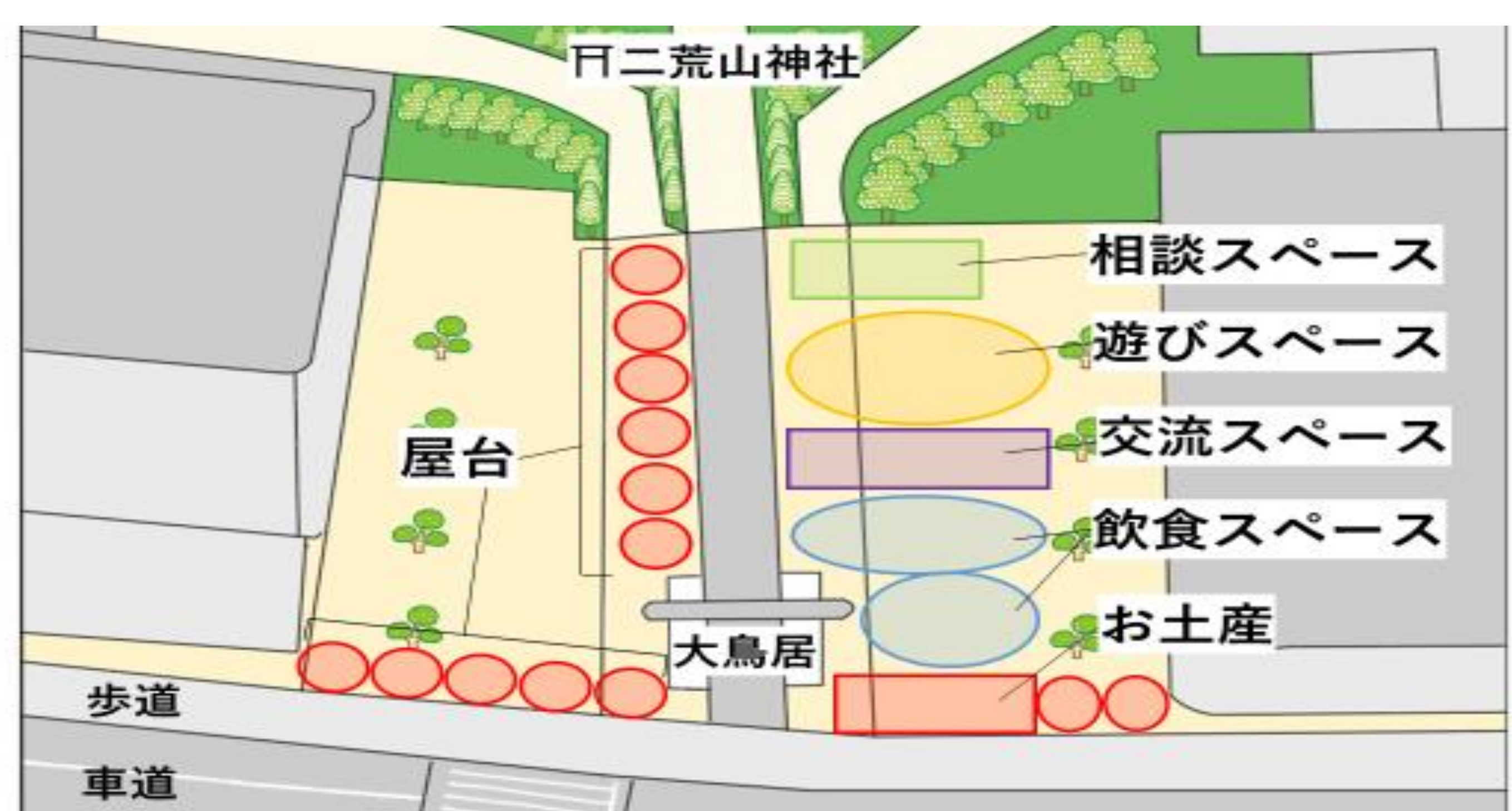
- ・働く場を得る
- ・宇都宮市の一員であることを自覚する、愛着度が高まる
- ・共に働くことで情報交換や交流の機会を得る

事業者

- ・外国人と共に働くことを通じ多文化理解が深まる
- ・お店のPR

宇都宮市

- ・観光客の誘致
- ・地元のお店が潤う
- ・宇都宮市のPR材料



食まちフェスin宇都宮イメージ図